

事業名 CD	0103010602	健康ふれあいセンター管理事業
細分化した事業名	0	
事業担当課室 CD	300400	商工観光課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	小項目	健康づくりの推進	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	韮崎市健康ふれあいセンター設置、管理及び使用料条例
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	利用者のふれあいと、交流を促進し、余暇の充実、健康と福祉の増進を図ること。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民及び市外からの利用者（観光客を含む）、指定管理者
これまでの改善経過	平成15年4月より、使用料の料金改定。大広間・個室の畳替え、露天に休憩コーナー設置。平成18年10月より指定管理者制度導入（料金改定）。平成19年7月より、一ヶ月フリーパスの導入。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/>市 <input checked="" type="checkbox"/>委託 <input type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設備は、1階に45mの流れる温水プール、子供プールなど家族で楽しめるウオーターガーデンと4種類のウエット・ドライサウナ、露天風呂に圧注浴、気泡浴、噴水浴、打たせ湯、寝湯などのアトラクション。2階に、休憩室の72畳の大広間（無料）、12畳の個室4室（有料）がある。 ・利用時間 午前10時～午後9時まで ・利用料金 市内大人300円／小学生以下200円 市外大人700円／小学生以下400円（平成18年10月より改定） ・休館日 毎週月曜日(但、祝祭日の場合はその翌日) 年末年始は12月31日～1月1日 ・指定管理者 ㈱キッツウエルネス 平成18年10月1日から平成22年3月31日
事業の成果 (どのような状態にしたいのか、どのような効果を得るのか)	利用者の健康の増進、余暇の活用による福祉の向上を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	35,128	42,185	33,012
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	35,128	42,185	33,012
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	1.0	1.00	0.36
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	6,901	6,909	2,456
D	総事業費(A+C) (千円)	42,029	49,094	35,468
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	1,106 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	年間開館日数	(日)	312	311	310
	委託料(算出式数値)	(年間:千円)	29,000	33,852	29,000
成果指標	市内利用者	(人)	98,933	99,691	100,578
	市外利用者	(人)	26,410	24,316	22,671
	年間利用料金収入額	(千円)	75,208	77,170	69,522
	市民一人当たり年間平均利用回数(年間)	市内利用者 100,578人/韮崎市人口 32,040人(5月1日現在)	2.99	3.08	3.13
効率指標	水道光熱費	(千円)	33,089	32,199	26,013
	利用者一人当りに必要なコスト(算出式数値)	総事業費/総利用者(円)	335	395	287
	水道光熱費削減率	前年度一本年度/前年度(%)		2	19

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 効率的な施設運営のため指定管理者制度を導入(H18.10~H22.3)できた点など、手段運営には妥当性がある。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 景気低迷の影響で旅行者が減ったり、周辺他施設との競合により、市外者の利用者数と収入が大幅に減っている。その反面、市内利用者が増えており、市民一人当たり平均年間3回以上の利用があり、リピーターは確実に増えており役割は果たされている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 平成21年度光熱水道代を平成20年度より19%減少させ企業努力がみられる。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 開館10年を経過し、15年・20年となる中で大規模な改修や補強の必要が高くなる。	(2) 23年度 基本協定書・事業計画書に基づいた管理運営(サービス向上、利用者の増加、利用者の意見に対する対応、安全管理等)のチェックと、指定管理者に対し定例ミーティングを行い事業目的の達成を図る。	(3) 22年度 更なる、ふれあいと交流の促進に向け、トレーニングルームを新設したり、市外者の利用数を増やすため、市外者向けに割引券の発行を検討する。 水道光熱費の削減に向けて、井戸水を検討する。
	21年度の改善計画 温泉ガス対策ガスセパレーター設置		
21年度の改善結果 平成19年設置した、オゾン浄化装置ピュアキレイザー(プール)により、水道光熱費の削減。 ガスセパレーター設置により可燃性天然ガスによる事故防止となり、利用者の安全を確保でき、温泉法に適合している。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	利用者アンケートなどによるきめ細やかな対応により、利用客のサービス向上に努めた。		